



かけはし

我が子の成長にびっくり

2 月初旬から中旬にかけて、本年度最後の学年参観を行いました。どの学年も 1 年間の成長が感じられる内容で、保護者の方々からも我が子の成長を喜ぶ声が寄せられました。

○今日は、2 分の 1 成人式という課題の参観でとても楽しみにして行きました。期待通り、子どもたちは本当に自分の得意なことを上手にしていました。いつものことながらこういうイベントはとても楽しみなのですが、見ている時子どもの成長過程が頭をよぎって、自然と涙があふれてきてしまいます。それと、男女とても仲が良いことにもいつも感心させられます。ダンスも歌もとても楽しそうにイキイキとしていました。今の気持ちを忘れず、いつまでもみんな仲良く元気に育ってほしいと願っています。

○子どもたち一人一人が夢を語り、特技を見せてくれる様子は、たのもしく思えました。小学校に入学する時を思うと、いろんな面で、社会性、世の中のルールやマナー、知識が身につく、心の成長をさせてもらっているなとうれしく思いました。一人でも多く将来の夢が叶うことを願わずにはられません。ガンバレ！子どもたち！
(4 年生)

○とても見ごたえのある内容だったと思います。子どもたちの日々の成長に驚きました。今までにない難しい言葉、国名、時代等、5 年生ではどうかなと思っていましたが、大人が思うほど子どもは頭が固くないんだということを知りました。

○学年懇談は、データの分析をもとに基本的生活習慣の大切さをお話いただき、よく分かり納得できました。できている大半に目を向けるのではなく、気になる 1 割の子に視点をあてていただいている先生方のご指導に感謝いたします。懇談の帰り、毎日のお手伝い何してる？という話に数人の親でなりました。塾や習い事で忙しい子どもたちについて親が気がつかったり、自分がやる方が早いからとお手伝いらしいお手伝いをさせていなかったり…。反省しました。
(5 年生)

○みんなとても大きくなってたのもしく見えました。いつもは口に出して言えないような言葉。言う方も恥ずかしいし、聞く方も恥ずかしい。でも何だか胸にジーンと

きました。後わずかな小学校生活、一日一日を大切に、そして元気に過ごしてほしいと思いました。

○演奏は一度きりではもったいないぐらいすばらしく、よくまとまっていて感動しました。家族の方々への短歌も、短い中に精一杯の感謝の気持ちが込められていて思わず涙が出てきました。あと少しとなって本当に淋しいですが、子どもの成長を見せていただき良かったです。○手紙や感謝の言葉など、とてもうれしかったです。なかなかこんな機会はないので、感謝してもらえてるんだと実感しました。まだまだこれからも、心も体も健康に、楽しく一緒に過ごしてほしいです。いつもお互いに必要な存在であり続けたいです。
(6 年生)

第 13 号の感想より

○健康で生きているということがいかに幸せであるかということを考えさせられました。苦しみを耐え忍び、病気と闘ったこの子の考え方に感動しました。

○13 歳の小さい子どもが、命の尊さや元気に生きていることの大切さをこれほどに感じることができるのかと驚きました。大人になってから気づくことは多いですが、小学生の子どもでも苦しい現実を目の前にすると、「生きる」という当たり前の現実に気づくのでしょうか。ただ、それは病気になったことで考えさせられたことで、普段はまず考えることすらないでしょう。だからこそ、この話をもとに、子どもたちと命の大切さについて改めて考えてみようと思います。

子どもたちも読んで考えました。

○「命さえあれば必ず前に進んでいける」この言葉に心を打たれました。私は、これからの人生をしっかりと生きていかなければと強く思いました。

○ぼくは、命は大切に、一日一日精一杯生きていかないといけないなと思いました。本当に、家族や友達といられるのは幸せです。簡単に、「死ね」「あほ」とかは言わないように心がけて、一日一日大切に生きていきたいです。

○「どんな小さな悪でも、見て見ぬふりをしとったらあかん。」ぼくは、ハッとしました。ぼくも今までに見て見ぬふりをしたことがあったからです。悪を止める大切さが今まで以上に分かりました。自分ももう一度根性を入れ直して、これから過ごしたいです。